

2025年6月9日

各 位

会 社 名 株式会社ROXX
代表者名 代表取締役社長 中嶋 汰朗
(コード：241A、グロース市場)
問合せ先 執行役員 CAO 高瀬 年樹
(TEL. 03-6777-7070)

よくある質問と回答 (2025年5月分)

日頃より、当社に関心をお寄せいただきありがとうございます。先月、投資家様よりいただいた主なご質問とその回答について、下記の通り公表いたします。

詳細につきましては、別紙をご参照ください。

なお、本公表は投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーを目的とするものです。

回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性があります。直近の回答内容を最新の当社方針として記載しております。

以 上

Q1. ノンデスク領域における採用市場の動向と競合環境について教えてください。

A1. ノンデスク領域における採用市場は依然として堅調です。雇用側の有効求人倍率も高く、需要が底堅い一方、労働側の供給が不足しており、賃金や成約単価は大きく上昇しております。このような状況を受け、雇用側は採用条件を緩和し、求職者の確保を試みております。

また、競合環境においては、新規上場時に競合他社の参入が噂された事例も一部ございましたが、求職者の集客側、求人企業の需要側、また求職者の選考中における競合人材紹介会社とのバッティングにおいても、特に大きな変化は見受けられません。

Q2. 「配置転換及び組織体制の強化（分業化）」の進捗状況について教えてください。

A2. 「配置転換及び組織体制の強化（分業化）」の影響により、求職者面談からの実施率や求職者面談からの内定獲得率を中心に低下しており、一時的に生産性が当初想定よりも落ちたことにより、上期は計画未達となっております。一方で、足元の第3四半期以降の業績は、生産性の底打ち、反転の兆しが確認できており、四半期の黒字化を見込んでおります。

また、キャリアアドバイザーが面談設定から選考支援までを対応していたものを、インサイドセールスとフィールドセールスに分業化したことに伴い、（1）ハイパフォーマーの1人あたりの売上高が、分業前と分業後では約4～6倍となっており、アップサイドが見えてきたこと、（2）業務のPDCAやAI・DX化の推進が実施しやすくなったことから、更なる改善が見込めると考えております。

Q3. 2025年9月期の通期業績の着地見込みについて教えてください。

A3. 第2四半期の業績は、「配置転換及び組織体制の強化（分業化）」の影響で、想定を上回る生産性の低下となっており、大きく未達に終わっており、下方修正の可能性がございます。こちらは経営判断としては中長期的には正しい意思決定だったと考える一方で、ダウンサイドの見通しが甘かったと大いに反省しております。

なお、業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

Q4. 中長期的な業績の見込みについて教えてください。

A4. 中長期的な業績の見込みについて変更はございません。ノンデスク領域における採用市場の動向と競合環境に大きな変化はなく、足元の第2四半期は「配置転換及び組織体制の強化（分業化）」の影響に伴う一時的な要因であり、生産性の底打ち、反転の兆しが確認できております。